

平成 22 年度第 1 回臨時理事会抄録

日時：平成 22 年 5 月 15 日（土） 13：00～16：45

場所：日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、岩瀬（副会長）、荻原（事務局長）、長尾、岩崎（監事）、大熊、香山、小林（毅）、土井、早川、山本（常務理事）、生田、大丸、苧山、北山、坂井、陣内、谷、日垣、東、三澤（理事）、久保田（部長）、小賀野、望月（委員長）、関（士会連絡協議会長）

新事務局職員紹介

I. 審議事項

1. 公益法人制度改革への対応について（中村会長）6 月総会にて会員に提示する内容として、非営利一般社団を選択し、公益に耐える組織づくりをした上で公益社団を目指す。また、総会決議の方法として、公益・非営利一般いずれも総会成立には構成員の 2 分の 1 の出席が要件となることから、現在の直接制でなく代議員制を導入したい。この提案に対し、非営利一般社団選択に関しては、①監督官庁からの見方は問題ないか、②会員に対し非営利一般社団を選択する理由の説明が必要、③提示は次期尚早、④現時点で協会の方針は明確に示すべき等の意見。また代議員制に関しては、①会員個人が直接意見を言う機会が奪われる、②昨年総会の委任状集めの際、会員に成立要件の説明が徹底されていたか、③代議員制のほうが身近で意見は言いやすい、④次期尚早、総会では保留が妥当、④協会のリーダーシップで、代議員制導入の方針を示すべき等の活発な意見交換がされたが、提案どおり、6 月総会に協会の方針として提示することとなる。→承認

2. 専門作業療法士（手の外科）の分野名変更について（陣内生涯教育部担当理事）「日本手の外科学会」が「日本手外科学会」に改名の予定があることから、分野名を「手外科」と変更し、変更時期は学会の名称変更に合わせてほしい。→承認

3. 平成 22 年度協会・都道府県士会合同研修会について（早川士会組織担当理事）プログラムの詳細の提案に対し、公益法人制度改革に関しての意見聴取の時間を入れ込むこととなる。→承認

4. 認定作業療法士の認定について（望月認定作業療法士審査等委員長）更新申請 11 名中 7 名を認定、新規 3 名を認定。→承認

5. 会員・賛助会員の退会について（荻原事務局長）賛助会員 2 件、死亡退会 2 件を報告。→承認

II 報告事項

1. WFOT チリ大会及び代表者会議について（中村会長）チリ大会の出席者は 2,200 人、1,600 題の演題が採択された。日本の協会のブースは大変好評。2014 年の開催に向け、各国との連携ができ、国際

交流の点でも非常に効果的だった。(富岡 WFOT 代表) 2012 年の代表者会議は台湾で開催。2014 年の大会に向け、日本の協会と WFOT との合意書の原案が示されたが、サインの取りかわしは後日とした。2014 年 6 月の大まかなスケジュールを確認。

2.平成 21 年度会計監査について(長尾監事) 会計、業務執行の状況は適正であることを確認した。

(中村会長) 議案書に誤った監事意見書が掲載されたことについて、経過と今後の対応、お詫びを述べる。

3.第 45 回総会の準備状況について(佐藤総会議事運営委員長) 総会議事進行予定表を確認。一部変更される。

4.機関誌の見積りについて(荻原事務局長) 4 社からの見積りの内容の説明。次回理事会で方針決定する。

5.リクルート活動で使用する高校生向けパンフレットについて(香山広報部担当理事) 広報部作成のパンフレットの素案を示す。

6.医療福祉チャンネル「OT アワー」の存続について(中村会長) 番組製作費の協会負担の申し入れに対し、経費を出して存続させることはしないことを決定する。

7.倫理問題事案 No.34 の対応経過について(中村会長) 事情聴取後、資料は揃ったが、協会としての処置基準の素案を現在作成している。

8 厚生労働省医道審議会への意見書について(中村会長) 審議会の適時開催、情報収集の公平性についての意見書を(社)日本理学療法士協会と連名で提出する。

9.平成 21 年度作業療法推進活動パイロット事業について(早川士会組織担当理事) 昨年度の事業実績報告書が完成、会計報告も提出された。

10.医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について(通知)(中村会長) 厚生労働省医政局よりの通知の内容を報告。作業療法の解釈の点では大きな前進。

11. 第 2 回医事課勉強会について(中村会長) 医療保険関係についての現状と課題のヒヤリングが行われた。今回は介護保険関係。

12. 渉外活動報告

三澤渉外部担当理事) JDD ネット理事会に出席。

岩瀬副会長) 北海道厚生局に WFOT 認定審査の結果を提出。

山本保険部担当理事) 日本リハビリテーション病院施設協会の理事会、評議会、総会に出席。

小林(毅)理事) 関東信越厚生局に WFOT 認定審査の結果を提出。

中村会長) 土田参議院議員との政策協定に立ち会った。

13.その他

1) 日本作業療法士連盟の学会ブース出展について(中村会長) 出展についての政治連盟からの要請を了承する。

2) 平成 21 年度補助金・助成金事業について（香山精神障害・認知症問題担当理事）障害者保健福祉推進事業の研究報告書とパンフレットが完成。印刷の予定。（岩瀬副会長）老人保健健康増進等事業のパンフレットが完成。報告会も終了している。

3) 協会との次年度事業に向けたアンケート集約結果について（荻原事務局長）毎年実施の各士会の現状調査の結果報告。

4) 「訪問リハステーションの設置」及び「医療・介護保険制度の連携に関する制度改正への提言」に向けた調査報告書について（中村会長）（社）日本作業療法士協会、（社）日本理学療法士協会、（一般社）日本言語聴覚士協会の 3 団体で作成した報告書が完成（回覧）

以上